

農山漁村地域整備計画

平成26年2月12日

東京都森林基盤整備事業計画(治山)					
計画策定主体 東京都					
対象市町村 奥多摩町、檜原村、あきる野市、日の出町、町田市、青ヶ島村					
計画の期間 平成22年度～平成26年度(5箇年)					
計画の目標 溪間工や山腹工による基盤整備や森林整備によって保安林機能を高め、山地災害危険地区等の存在する集落に対して山地災害防止機能を高めるとともに漁場に対する土砂の流入を緩和させることを目標とする。					
定量的指標 山地災害防止機能が確保される集落数の増加(現状325集落を平成26年度末343集落) 土砂流入が緩和された漁場 2箇所					
①対象事業					
単位：千円					
事業名	地区名	事業実施主体	工期	総事業費	主な事業内容等
予防治山事業	東京都全域	東京都	平成22年～23年	163,000	
治山事業	東京都全域	東京都	平成22年～26年	1,120,000	
合計 (全体事業費)				1,283,000	
②関連事業					
単位：千円					
事業名	地区名	事業実施主体	工期	総事業費	主な事業内容等
漁場保全の 森づくり事業	東京都全域	東京都	平成22年～24年	437,000	
合計 (全体事業費)				437,000	

※対象事業を示した図面を添付

農山漁村地域整備計画対象事業 位置図

[東京都森林基盤整備事業計画(治山):平成22年度～平成26年度]



● 対象事業(予防治山)

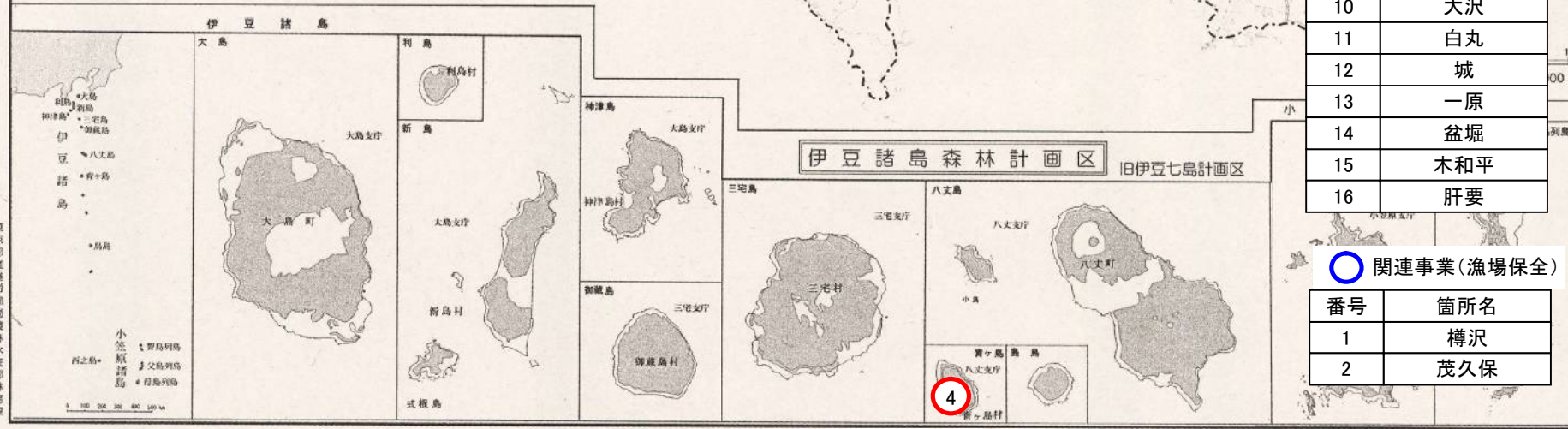
番号	箇所名
1	留浦
2	海入道

○ 対象事業(治山)

番号	箇所名
1	小河内
2	青木平
3	大地沢
4	池之沢
5	人里
6	川向
7	軍道
8	日原
9	水根沢
10	大沢
11	白丸
12	城
13	一原
14	盆堀
15	木和平
16	肝要

○ 関連事業(漁場保全)

番号	箇所名
1	樽沢
2	茂久保



東京都産業労働部森林水産部林務課

農山漁村地域整備計画(東京都森林基盤整備計画(治山))事前評価結果

計画の概要	計画の名称	東京都森林基盤整備計画(治山)
	計画策定主体	東京都
	対象市町村	奥多摩町、檜原村、あきる野市、日の出町、町田市、青ヶ島村 (6市町村)
	計画期間	平成22年度～平成26年度 (5箇年)
	計画の目標	溪間工や山腹工による基盤整備や森林整備によって保安林機能を高め、山地災害危険地区等の存在する集落に対して山地災害防止機能を高めるとともに漁場に対する土砂の流入を緩和させることを目標とする。
	評価指標	山地災害防止機能が確保される集落数の増加 (現状325集落を平成26年度末343集落) 土砂流入が緩和された漁場 2箇所
	対象事業	予防治山事業(関連事業として治山事業及び漁場保全の森づくり事業)
全体事業費	1, 283, 000千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「森林整備保全事業計画」及び「漁場保全関連特定森林整備事業の基本方針」に定める事業目標と整合性がとれている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である「山地災害の防止」と「漁場への土砂流入の緩和」に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適切な定量的指標の設定となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	「山地災害防止機能が確保された集落数」及び「土砂流入が緩和された漁場数」により事業評価できるものとなっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	「治山事業」及び「漁場保全の森づくり事業」の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	対象地の条件・事業に必要な技術的条件・事業費等様々な側面から検討して実施可能な計画となっている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者からは同意または理解を得られている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 事業の見直し		{評価基準} {評価Ⅰ}は全項目に○印がついている {評価Ⅱ}は1項目でも×印がついている